

○ 保幼小連携コアカリキュラムの柱等について

生きる力の育成		興味・関心・知性・感性	共感・関係性	自立・自律・充実感
柱	生活 (食・健康)	<ul style="list-style-type: none"> 自分の健康や体について関心を持ち、食べ物、運動、生活リズムの大切さなどに気付き、自分で出来ることをしようとする。 身の回りの出来事や生活全般について興味や関心を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> 家族や友だちとの関わりの中で食事を楽しむ。 戸外で体を十分に動かし、友だちと一緒に遊びや活動を進める楽しみを味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分でしなければならないことを自覚して行い、あきらめずにやり遂げることで満足感や達成感を味わう。 健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付け、見通しをもって行動する。
	遊び・学び (運動・命)	<ul style="list-style-type: none"> 豊かな経験を通じて、感じたり気付いたりできる喜びや楽しさを味わう。 身近な環境や、周りの友だちに刺激を受けながら、様々なものに興味・関心を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> 友だちと一緒に遊びや活動を行う中で、考えたり、工夫したりして楽しさを共有し、友だちの良さに気付いたり、認めあったりする。 思いきり体を動かし、友だちと相談したりしながら、ルールのある遊びやルールを考え出す。 	<ul style="list-style-type: none"> 物の使い方や、遊び方において、工夫したり試したりし、失敗しながらも、新しいことを成し遂げ、自信を持って行動できるようになる。 様々な活動や遊びを十分に楽しみ、意欲的に取り組むとともに主体的に行動することで充実感や達成感を味わう。
	自己	<ul style="list-style-type: none"> 自分なりに疑問に思ったことを調べたり、工夫したりしながら取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな活動や遊びを通して、友達や周囲の人に認められる喜びを味わう。 友だちや大人との関わりを通して自分のよさに気付く。 友だちと関わりながら、互いの思いや考えに気付き共有する中で、共通の目的に向けて、考えたり工夫したり協力したりする面白さを味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分なりに目標を立てて粘り強く取り組む。 自分たちで生活の場を整えながら見通しを持って行動する。 場面や状況に応じて、自分なりに判断し、自己をコントロールしようとする。 自分の力で行動することや、工夫しながらあきらめずにやり遂げることで、充実感や達成感を味わう。
	人との かかわり	<ul style="list-style-type: none"> 友だちが感じたこと、考えたことに興味・関心を持ち、自分が感じたこと、考えたことを様々な方法で自分なりに表現する楽しさを味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な活動を通して人と関わる楽しさに気づき、相手の話を聴き気持ちを感じ取ったり、自分の思いを伝えたりする。 友だちの思いや頑張りに気付き、互いに認め合う中で相手を大切に思う気持ちを持つ。 友だちと一緒に遊びや活動を行う中で、楽しさを共感しあう。 	<ul style="list-style-type: none"> 集団生活を送る上でのルールや約束ごとを学び守ることで、充実感や達成感を味わう。

教師・保育者の姿勢		
柱	安心・安定	<ul style="list-style-type: none"> 環境づくり 一人ひとりとの関係づくり 命の大切さ
	連携・支援	<ul style="list-style-type: none"> 保護者支援 地域との連携 保幼小連携 関係機関との連携

